

ささえあい活動(長寿応援ファンド)助成活動報告書(平成30年度)

活動テーマ	<input type="checkbox"/> 高齢者の日常生活や健康づくりを支援する活動 <input checked="" type="checkbox"/> 子ども・若者世代を支援する活動 <input type="checkbox"/> 世代間の交流を進める活動 <input type="checkbox"/> 誰もが住みやすいまちづくりを進める活動		
活動名	重症心身障がい児の学びサポート事業		
団体名	認定NPO法人スマイリングホスピタルジャパン (平成 24 年 2 月設立)		
活動費 (事業終了後確定額)	873,458 円		
助成額(当初交付)	379,000 円	助成額(決算)	318,303 円
活動目的	重症心身障がい児の中には、日常的に医療的ケアを含む様々なケアが必要であるため、通学が困難、または通学できたとしても日々のケアに追われ十分な学習時間の確保が困難な方がいる。さらに、障がい重い場合、支援者による学習環境の整備や内容の精選が難しく、学習自体が停滞することも多い。以上のような学習停滞の改善や個別の学習支援のニーズに応えることが申請した「学びサポート事業」の目的である。		

1 活動の実施状況

*** 実施日時、場所(会場)、対象者、参加人数等、活動の具体的な実施状況を記入してください。**

実 施 状 況	<p>○在宅訪問による個別の学習支援(全54回)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・5月(全5回): 19日Hさん(プログラミング)、26日Oさん(基礎学習)、26日Fさん(基礎学習)、26日Kさん(基礎学習)、26日Mさん(基礎学習) ・6月(全7回): 1日OKさん(美術)、2日Hさん(音楽)、9日Hさん(プログラミング)、16日Fさん(基礎学習)、16日Kさん(基礎学習)、16日Mさん(基礎学習)、17日Oさん(基礎学習) ・7月(全6回): 4日OKさん(美術)、21日Hさん(プログラミング)、21日Fさん(基礎学習)、21日Kさん(基礎学習)、21日Mさん(基礎学習)、21日Oさん(基礎学習) ・8月(全3回): 2日OKさん(美術)、11日Hさん(音楽)、25日Hさん(プログラミング) ・9月(全5回): 6日OKさん(美術)、29日Oさん(基礎学習)、29日Kさん(基礎学習)、30日Mさん(基礎学習)、30日Fさん(基礎学習) ・10月(全3回): 11日OKさん(美術)、13日Hさん(音楽)、27日Oさん(基礎学習) ・11月(全5回): 15日OKさん(美術)、10日Hさん(プログラミング)、10日Fさん(基礎学習)、10日Mさん(基礎学習)、22日Oさん(基礎学習) ・12月(全6回): 1日Hさん(音楽)、13日OKさん(美術)、22日Fさん(基礎学習)、22日Mさん(基礎学習)、8日Oさん(基礎学習)、8日Kさん(基礎学習) ・1月(全5回): 10日OKさん(美術)、12日Oさん(基礎学習)、12日Kさん(基礎学習)、19日Fさん(基礎学習)、19日Mさん(基礎学習) ・2月(全4回): 2日Hさん(音楽)、7日OKさん(美術)、23日Fさん(基礎学習)、23日Mさん(基礎学習) ・3月(全5回): 14日OKさん(美術)、16日Fさん(基礎学習)、16日Mさん(基礎学習)、9日Oさん(基礎学習)、9日Kさん(基礎学習) <p>○その他の活動</p> <p>①卒業後施設における支援機器講習会(マイルドハート高円寺)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・平成30年8月17日(金)10:30~15:00 ・内容: 肢体不自由児の支援方法であるスイッチの理解の促進と日々の支援に生かす機器の活用を学んだ。 ・対象: 本人、保護者 ・参加者: 17名 スタッフ: 3名 ・周知方法: なでこの会(マイルドハート高円寺保護者の会)を通じて <p>○その他の活動</p> <p>②就学前施設における支援機器体験および製作会(杉並区立子ども発達センター)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・平成30年8月14日(火)10:00~14:30 ・内容: スイッチについて講師による簡単な説明の後、実際に肢体不自由児でも操作可能な玩具に触れて遊ぶ体験会を行った。 ・対象: 本人、保護者、センタースタッフ ・参加者: 30名 スタッフ: 2名 ・周知方法: 杉並区立子ども発達センターを通じて
------------------	--

活動名	重症心身障がい児の学びサポート事業
-----	-------------------

2 実施活動の効果・成果

* 助成を受けたことによる効果・成果(地域への貢献)を、記入してください。

効果・成果	<p>対象者数6名に対し月1回の個別学習という当初の目標を達成できた。年間目標回数47回を上回る54回実施できた。助成金により、重症心身障がい児の個別のニーズに合った物品を揃えられ、一人ひとりに合った学習環境を整備し、より適切な学習支援を行うことができた。</p> <p>・利用者の声:「福祉事務所の方に、視線入力映像を見せると、これは良いですねと、いってくれました。色々ご提案ありがとうございました。娘の生活がより向上する事を楽しみにしています。」(杉並区Kさん)</p> <p>※補足:個別の学習で、視線入力装置を操作する様子をお母様が動画に撮り、福祉事務所へ支援機器の購入助成について相談に行った時のエピソード。</p> <p>・活動の拡大:卒業後の通所施設や就学前施設にて講習会を実施し、学びサポート利用者以外の杉並区に居住する重症心身障がい児の学習環境やコミュニケーション環境の整備をサポートすることが出来た。</p>
-------	--

3 今後の課題及び翌年度以降の活動予定

* 課題の要因も併せて記入してください。

活動を実施した結果見出された課題及び翌年度以降の活動予定	
課題・活動予定	<p>○今後の活動予定</p> <ul style="list-style-type: none"> ・在宅訪問による個別の学習支援:対象人数7名に対し、それぞれの方に月1回、年間10回程度実施予定 ・個別の学習ニーズに応えるための教材・教具のさらなる充実及びスタッフの育成(学習支援員の不足) ・卒業後の通所施設や就学前施設にて講習会を実施し、学びサポート利用者以外の杉並区に居住する重症心身障がい児の学習環境やコミュニケーション環境の整備をサポートする(当事者の方々に寄り添った支援技術の普及) ・在宅訪問学習支援を定着・発展させ、その効果を調査・分析し、区の委託事業として提案(活動費の確保)

4 収支決算書

* 収入・支出ともに予算額は申請時の金額を記載します。

		予算額(円)	決算額(円)	内訳
収入	ささえあい活動(長寿応援ファンド)助成金	379,000	318,303	
	団体負担金	135,583	101,155	預金
	活動収入	47,000	54,000	授業料@1000×54回= 54,000
	その他の収入	698,938	400,000	賛助会費@5000×70人=350,000 寄付50000
	計	1,260,521	873,458	予算額計、決算額計とも支出の計と合致すること

活動名	重症心身障がい児の学びサポート事業
-----	-------------------

支出	費目	予算額(円)	決算額(円)	内訳・増減理由
	謝礼金等	235,000	270,000	学習支援員謝金(交通費含む): 5,000円×54日=27000円(助成金対象外) ※回数が予定より増えた。
	消耗品費	115,672	112,728	立体コピー用紙:86,400円 視力検査器具:14,040円 運搬用コンテナ:12,288円
	旅費・交通費	47,000	600	駐車料金:600円×1回=600円 ※他の活動では、駐車料金不要だった。
	印刷費			
	通信運搬費			
	使用料・賃借料	264,000	132,000	駐車場代: 22,000円×6ヶ月=132,000円(助成金対象外)
	備品費	421,394	203,175	音声出力補助装置:41,540円 立体コピー機:未購入(助成金対象外) 液晶ディスプレイ:45,319円 視線入力固定具(費目流用;相談済):51,192円 学習机:65,124円
	その他の経費	177,455	154,955	研修会参加費:7,500円×1名=7,500円(助成金対象外) 車両保険:45,980円(助成金対象外) 自動車税:39,675円(助成金対象外) 車両車検費:60,000円(助成金対象外) ボランティア保険:300円×6名=1,800円
	計	1,260,521	873,458	執行率 (決算額/予算額) 69.3%
		うち 助成額	318,303	予算額計、決算額計とも収入の計と合致すること

5 自己評価

目的	問1 活動は当初の目的どおり実施できましたか。
	<input checked="" type="checkbox"/> 充分できた <input type="checkbox"/> ほぼできた <input type="checkbox"/> あまりできなかった <input type="checkbox"/> できなかった
活動内容と実施	問2 計画したとおり(活動内容、スケジュール等)実施できましたか。
	<input checked="" type="checkbox"/> 充分できた <input type="checkbox"/> ほぼできた <input type="checkbox"/> あまりできなかった <input type="checkbox"/> できなかった ↓「あまりできなかった、できなかった」と回答した場合は理由を記入してください。
	問3 申請時の収支見込は適切でしたか。
	<input checked="" type="checkbox"/> 適切であった <input type="checkbox"/> ほぼ適切であった <input type="checkbox"/> あまり適切ではなかった <input type="checkbox"/> 適切ではなかった
効果・成果	問4 計画通りの実施効果を得ることができましたか。
	ささえあい活動(長寿応援ファンド)助成金交付申請書「2活動計画書」の申請目的欄に記載した内容に対応させてください。 <input checked="" type="checkbox"/> 充分できた <input type="checkbox"/> ほぼできた <input type="checkbox"/> あまりできなかった <input type="checkbox"/> できなかった ↓「充分できた」「ほぼできた」の場合は効果の具体的内容を、「あまりできなかった」「できなかった」場合は課題となった点を記載してください。
	・対象者数6名に対し月1回の個別学習という当初の目標を達成できた。年間目標回数47回を上回る54回実施できた。助成金により、重症心身障がい児の個別のニーズに合った物品を揃えられ、一人ひとりに合った学習環境を整備し、より適切な学習支援を行うことができた。 ・活動の拡大:卒業後の通所施設や就学前施設にて講習会を実施し、学びサポート利用者以外の杉並区に居住する重症心身障がい児の学習環境やコミュニケーション環境の整備をサポートすることが出来た。
	問5 今回の活動を通して、理解者や支援者は広がり了吗か。
	<input checked="" type="checkbox"/> 広がった <input type="checkbox"/> 多少広がった <input type="checkbox"/> あまり広がらなかった <input type="checkbox"/> 広がらなかった ↓参加者や支援者などから寄せられた声を具体的に記載してください。
	・利用者の声:「福祉事務所の方に、視線入力の映像を見せると、これは良いですねと、いってくれました。色々ご提案ありがとうございました。娘の生活がより向上する事を楽しみにしています。」(杉並区Kさん) ※補足:個別の学習で、視線入力装置を操作する様子をお母様が動画に撮り、福祉事務所へ支援機器の購入助成について相談に行った時のエピソード。
	問6 実施した活動はどのような点で地域貢献になっていますか。
	・地域に住む重症心身障がい児の内、通学が困難で十分な学習時間が確保されない、通学しているが十分な学習がなされていないなど十分な学習支援を受けられていない子どもや、卒業しても学びを継続したい高等部卒業生を含む6名に対し、学習停滞の改善や個別の学習支援のニーズに応えることができた。
	問7 助成を受けたことで生まれたと考える効果を具体的に記載してください。
	・重症心身障がい児の困難さは多様で、様々な支援機器や教材・教具が必要であるが、その一つ一つが高価な場合が多い。助成金を活用することで、多くの重症心身障がい児の個別のニーズに合った物品を揃えられ、一人一人に合った学習環境を整備することができ、より適切な学習支援を行うことができた。 ・区内の卒業後の通所施設や就学前施設にて講習会を実施し、一人一人に合った学習環境を整備することについて、実際に支援機器を使い、体験しながら参加者と情報共有することができた。
その他	問8 自由意見
	昨年スタートした居宅訪問型児童発達支援は、従来あった児童発達支援や放課後等デイサービスと同様のサービスを外出が難しい方々が「在宅」でも受けることができるよう新設された制度である。その内容についてはどの事業所も障がい重い方々にどのような形で発達を支援するか模索している。各事業で蓄積している支援の方法を広く共有できる機会を区としても設けていただきたい。

ささえあい活動(長寿応援ファンド)助成活動報告書(平成30年度)

活動テーマ	<input type="checkbox"/> 高齢者の日常生活や健康づくりを支援する活動 <input type="checkbox"/> 子ども・若者世代を支援する活動 <input type="checkbox"/> 世代間の交流を進める活動 <input checked="" type="checkbox"/> 誰もが住みやすいまちづくりを進める活動		
活動名	失語症会話実践付き理解講座と要点筆記講習会		
団体名	特定非営利活動法人日本失語症協議会 昭和 58 年 9 月設立)		
活動費 (事業終了後確定額)	607,908 円		
助成額(当初交付)	560,000 円	助成額(決算)	539,864 円
活動目的	認知度の低い失語症を理解していただくため、失語症講座と失語症のある方々にも参加していただき実際の会話練習をおこない、失語症のある方への支援の一助としていただく。現在、活動しているボランティアである失語症会話パートナーと言語聴覚士を対象にした、失語症の意志疎通支援に必要な要点筆記を学ぶ。		

1 活動の実施状況

*** 実施日時、場所(会場)、対象者、参加人数等、活動の具体的な実施状況を記入してください。**

実 施 状 況	失語症会話実践付き理解講座 (1) 実施日時 平成30年11月16日(金)13時～16時 (2) 実施場所: ウェルファーム杉並第1、第3、第4会議室 (3) 対象者: ケアマネジャー、相談支援員・失語症者の家族 (4) 参加人数: 24名 (5) 実施状況: 失語症理解講演会・会話支援の方法: 失語症講師による実践講座を行った。
	要点筆記入門講座 (1) 実施日時: 平成31年3月8日(金)18時～20時 (2) 実施場所: ㈱言語生活サポートセンターグループ訓練室 (3) 対象者: 失語症会話パートナー・言語聴覚士・言語聴覚学科学生 (4) 参加人数: 19名 (5) 実施状況: 要点筆記概要講座・個人対象の要点筆記、集団対象の要点筆記の実践講習会・AIを使った要点筆記の講習会

活動名	失語症会話実践付き理解講座と要点筆記講習会
-----	-----------------------

2 実施活動の効果・成果

* 助成を受けたことによる効果・成果(地域への貢献)を、記入してください。

効果・成果	<p>失語症会話実践付き理解講座：ケアマネジャー、相談支援員等の方々が、失語症の有る利用者と意思疎通を可能にし、利用者計画書などを作成の一助となるという、特にケアマネジャーは、対象者が高齢の時など、失語症なのか、認知症なのかを判断するときに、失語症のある方との意思疎通支援方法を学んでおくことにより、正しい介護計画書を作成することができるなどの効果がある。 要点筆記講習会：高度な技術(失語症をよく知る事、医療関係文言がある事、パソコンを扱うこと等)を要するため、この短時間の今回の講習会のみでは目的の達成までは難しい。しかし、初級の技術の獲得という面で、ワークショップや、模擬実習などを行うことで、要点筆記の困難さをご理解いただき、さらなる高みを目指していただくことができた。</p>
-------	---

3 今後の課題及び翌年度以降の活動予定

* 課題の要因も併せて記入してください。

活動を実施した結果見出された課題及び翌年度以降の活動予定	
課題・活動予定	<p>会話支援者付き実践講座：失語症のある方々の、社会的行動を広げるためには、失語症のある方との会話練習・意思疎通練習は、ケアマネジャーや相談支援員、家族だけに必要なものではない。失語症に対する社会の障壁を低くするため、今回開催した会話実践講座を、官公庁(杉並区役所・警察・消防等)、企業(銀行、郵便局等)、法人会、町会、学校教育の現場などでも、実施することができれば失語症を持った方々が、おひとりで外出や、仕事、あるいは、買い物等に街いもなく出かけることができる。障害があってもなくても住みやすい杉並区にするために、多くの方々に失語症を知っていただく機会を探っていくことが今後の課題となっている。 要点筆記講習会：要点筆記は聴覚障害者の手話、要約筆記、視覚障害者の点字に代わる、失語症の有る方々の代替手段の一つである。個人支援でも有効であるが、多くは集団支援としての活用であるので、様々な失語症及び医療の知識とパソコンを使用の技術的な向上が望まれる。今後、要点筆記が現状の手話や要約筆記のように公に当たり前に使用されるようになるには、時間を要するが、失語症者の参加するイベント等で要点筆記が日常的に使用されるように、講習会を重ねて協力者を増やしていく予定である。 翌年度以降：すべての講習会、講演会を開催する予定ではあるが、助成金の取得に左右される。したがって、助成金取得後の計画となる。要点筆記講座については、フォローアップ講座開催の予定。</p>

4 収支決算書

* 収入・支出ともに予算額は申請時の金額を記載します。

	予算額(円)	決算額(円)	内訳
収入	ささえあい活動(長寿応援ファンド)助成金	560,000	539,864 講師料、会場費等の減額による
	団体負担金	7,176	31,284 含む、助成金返金額20136円
	活動収入	45,000	36,500 受講者が予定より少なかった為
	その他の収入		
	計	612,176	607,648

活動名	失語症会話実践付き理解講座と要点筆記講習会
-----	-----------------------

費目	予算額(円)	決算額(円)		内訳・増減理由
		うち 助成額		
謝礼金等	370,000	366,000	366,000	<内訳>理解講座講師ST謝礼・120,000円、チューターST謝礼・120,000円、当事者講師謝礼・36,000円、要点筆記記者謝礼・10,000円、要点筆記講師謝礼・40,000円、テキスト作成謝礼40,000円 <増減理由>講師ST1名減とチューターST2名と当事者講師2名増に伴い総額で4,000円予算より減額
消耗品費	3,000	6,048	3,000	<内訳>サインペン、OA用紙他 <増理由>一つのホワイトボード利用計画のところ、3ヶ所の実習の場を広げたため模造紙で対応
旅費・交通費	27,000	26,364	26,364	<内訳>理解講座25名、要点筆記2名
印刷費	53,600	68,882	50,000	<内訳>理解講座、要点筆記チラシデザイン代、当日資料・配布物(式次第アンケート等)印刷代、要点筆記テキスト印刷製本代 <増理由>予備の印刷ため
通信運搬費	20,000	28,590	20,000	<内訳>案内送付通信費、当日資料等運搬費 <増減理由>予想より通信費が増、会場が近かった為、運搬費減
使用料・賃借料	105,600	79,300	44,500	<内訳>事前会議室料3回分、理解講座、要点筆記室料、プロジェクター代 <減理由>予算より会場費が安く済んだ
備品費				
その他の経費	32,976	32,464	30,000	<内訳>理解講座受付、障害者介助案内、当事者講師水・両講座行事保険 <増減理由>要点筆記受付
計	612,176	607,648	539,864	執行率 (決算額/予算額) 99.3%
				予算額計、決算額計とも収入の計と合致すること

活動名	失語症会話実践付き理解講座と要点筆記講習会
-----	-----------------------

5 自己評価

目的	問1 活動は当初の目的どおり実施できましたか。
	<input type="checkbox"/> 充分できた <input checked="" type="checkbox"/> ほぼできた <input type="checkbox"/> あまりできなかった <input type="checkbox"/> できなかった
活動内容と実施	問2 計画したとおり(活動内容、スケジュール等)実施できましたか。
	<input type="checkbox"/> 充分できた <input checked="" type="checkbox"/> ほぼできた <input type="checkbox"/> あまりできなかった <input type="checkbox"/> できなかった ↓「あまりできなかった、できなかった」と回答した場合は理由を記入してください。
効果・成果	問3 申請時の収支見込は適切でしたか。
	<input type="checkbox"/> 適切であった <input checked="" type="checkbox"/> ほぼ適切であった <input type="checkbox"/> あまり適切ではなかった <input type="checkbox"/> 適切ではなかった
効果・成果	問4 計画通りの実施効果を得ることができましたか。
	ささえあい活動(長寿応援ファンド)助成金交付申請書「2活動計画書」の申請目的欄に記載した内容に対応させてください。 <input type="checkbox"/> 充分できた <input checked="" type="checkbox"/> ほぼできた <input type="checkbox"/> あまりできなかった <input type="checkbox"/> できなかった ↓「充分できた」「ほぼできた」の場合は効果の具体的内容を、「あまりできなかった」「できなかった」場合は課題となった点を記載してください。 参加者ほぼ全員の方々からアンケート内容は、満足なさって方が多かった。
効果・成果	問5 今回の活動を通して、理解者や支援者は広がり了吗か。
	<input type="checkbox"/> 広がった <input checked="" type="checkbox"/> 多少広がった <input type="checkbox"/> あまり広がらなかった <input type="checkbox"/> 広がらなかった ↓参加者や支援者などから寄せられた声を具体的に記載してください。 1) ケアマネジャーからは、今後の失語症のある方の介護計画を本人の意志を聞いて作成することができる。 2)家族からは家庭内の意思疎通がスムーズになると感じていた。 3)要点筆記に関しては、なかなか即実践するのは困難ではあるが、初期手法を学ぶことができ今後講習を継続して、要点筆記を役立てていきたい。
効果・成果	問6 実施した活動はどのような点で地域貢献になっていますか。
	ケアマネジャーや相談支援員等、失語症に関わる機会の多い方々より、仕事の一助になったという声があった。また、ご家族からは、家庭内での意思疎通が円滑になったとの反応があった。
効果・成果	問7 助成を受けたことで生まれたと考える効果を具体的に記載してください。
	・ケアマネジャー、相談支援員等の方々から失語症の利用者との意思疎通を図れるようになることで、対象者の正しい介護計画書作成につながった。 ・講習参加者が要点筆記技術を習得し、その困難さを実感することにより、さらなる高みを目指していただくことができた。
その他	問8 自由意見
その他	

ささえあい活動(長寿応援ファンド)助成活動報告書(平成30年度)

活動テーマ	<input checked="" type="checkbox"/> 高齢者の日常生活や健康づくりを支援する活動 <input type="checkbox"/> 子ども・若者世代を支援する活動 <input type="checkbox"/> 世代間の交流を進める活動 <input type="checkbox"/> 誰もが住みやすいまちづくりを進める活動		
活動名	げんき貯筋倶楽部		
団体名	げんき貯筋倶楽部 (平成 30 年 4 月設立)		
活動費 (事業終了後確定額)	50,400 円		
助成額(当初交付)	95,000 円	助成額(決算)	50,400 円
活動目的	介護保険に該当しない、地域の高齢者に対するリハビリ運動の拠点作り		

1 活動の実施状況

***実施日時、場所(会場)、対象者、参加人数等、活動の具体的な実施状況を記入してください。**

実 施 状 況	<p>【実施日時】第2第4木曜日13:00～14:00(平成30年度中に26回開催)</p> <p>【会場】ゆうゆう下井草館</p> <p>【対象者】介護保険を用いていない高齢者</p> <p>【参加人数】毎回平均30人程度参加</p> <p>【活動内容】1時間のリハビリ運動と介護予防の啓蒙</p>

活動名	げんき貯筋倶楽部
-----	----------

2 実施活動の効果・成果

* 助成を受けたことによる効果・成果(地域への貢献)を、記入してください。

効果・成果	<ul style="list-style-type: none"> ・チラシの作成により、事業の周知と集客ができた。 ・資料を作成・配布したことで、自宅での自主リハビリにつながった。 ・講師料が支出できたことで、より専門的なリハビリ運動の提供ができた。また、参加者の質問に答える中でニーズを捉えることができ、運動機能の維持に貢献した。 ・介護保険が必要な方を早期発見し、適切な機関へ迅速につなげることができた。
-------	--

3 今後の課題及び翌年度以降の活動予定

* 課題の要因も併せて記入してください。

活動を実施した結果見出された課題及び翌年度以降の活動予定	
課題・活動予定	<ul style="list-style-type: none"> ・翌年度は、より介護予防の啓蒙のため著名人を招いたイベントを開催予定である。 ・今年度の活動は好評であったため、継続していく。 ・事務処理の効率化を図る。

4 収支決算書

* 収入・支出ともに予算額は申請時の金額を記載します。

		予算額(円)	決算額(円)	内訳
収入	ささえあい活動(長寿応援ファンド)助成金	95,000	50,400	
	団体負担金			
	活動収入	106,000	106,000	4～6月1,000円(23人)、7～9月1,000円(23人)、10月～12月1,500円(30人)、1月～3月1,500円(30人)
	その他の収入			
	計	201,000	156,400	予算額計、決算額計とも支出の計と合致すること

活動名

げんき貯筋倶楽部

支出	費目	予算額(円)	決算額(円)		内訳・増減理由
	謝礼金等	39,000	39,000		・株式会社保歩笑講師派遣 1回1,500円(26回)
			うち 助成額	39,000	
	消耗品費	44,600		うち 助成	
	旅費 ・交通費			うち 助成	
	印刷費	11,400	11,400		・チラシ印刷 ・自主トレーニング資料
			うち 助成額	11,400	
	通信運搬費			うち 助成	
	使用料・賃借料			うち 助成額	
	備品費			うち 助成額	
その他の経費	106,000	106,000		・受付業務 ・個人情報管理 ・その他運営諸経費	
		うち 助成額			
計	201,000	156,400		執行率 (決算額/予算額)	77.8%
		うち 助成額	50,400	予算額計、決算額計とも収入の計と合致すること	

5 自己評価

目的	問1 活動は当初の目的どおり実施できましたか。
	<input checked="" type="checkbox"/> 充分できた <input type="checkbox"/> ほぼできた <input type="checkbox"/> あまりできなかった <input type="checkbox"/> できなかった
活動内容と実施	問2 計画したとおり(活動内容、スケジュール等)実施できましたか。
	<input checked="" type="checkbox"/> 充分できた <input type="checkbox"/> ほぼできた <input type="checkbox"/> あまりできなかった <input type="checkbox"/> できなかった ↓「あまりできなかった、できなかった」と回答した場合は理由を記入してください。
	<hr/>
	問3 申請時の収支見込は適切でしたか。
	<input type="checkbox"/> 適切であった <input checked="" type="checkbox"/> ほぼ適切であった <input type="checkbox"/> あまり適切ではなかった <input type="checkbox"/> 適切ではなかった
効果・成果	問4 計画通りの実施効果を得ることができましたか。
	ささえあい活動(長寿応援ファンド)助成金交付申請書「2活動計画書」の申請目的欄に記載した内容に対応させてください。 <input checked="" type="checkbox"/> 充分できた <input type="checkbox"/> ほぼできた <input type="checkbox"/> あまりできなかった <input type="checkbox"/> できなかった ↓「充分できた」「ほぼできた」の場合は効果の具体的内容を、「あまりできなかった」「できなかった」場合は課題となった点を記載してください。 アンケートによると、「家に閉じこもらなくなった」とか、「外出できて癒されいます」、「回数を増やして欲しい」などのお声をいただき、定員も増やすことができた。
	問5 今回の活動を通して、理解者や支援者は広がりましたか。
	<input checked="" type="checkbox"/> 広がった <input type="checkbox"/> 多少広がった <input type="checkbox"/> あまり広がらなかった <input type="checkbox"/> 広がらなかった ↓参加者や支援者などから寄せられた声を具体的に記載してください。 「続けて欲しい」「近くで体操ができることができるところが増えてよかった」等
	問6 実施した活動はどのような点で地域貢献になっていますか。
地域の介護予防リハビリ、早期発見、地域との繋がり拠点である点。	
	問7 助成を受けたことで生まれたと考える効果を具体的に記載してください。
	<ul style="list-style-type: none"> ・新しい介護予防の拠点ができた。 ・印刷物があることで、自主トレの意識づけと、実践ができるようになった。 ・地域の見知らぬ高齢者との繋がりができた。
その他	問8 自由意見
	<hr/>

ささえあい活動(長寿応援ファンド)助成活動報告書(平成30年度)

活動テーマ	<input type="checkbox"/> 高齢者の日常生活や健康づくりを支援する活動 <input type="checkbox"/> 子ども・若者世代を支援する活動 <input type="checkbox"/> 世代間の交流を進める活動 <input checked="" type="checkbox"/> 誰もが住みやすいまちづくりを進める活動		
活動名	宮前地域貢献活動		
団体名	宮前まちづくりの会 (平成 29 年 7 月設立)		
活動費 (事業終了後確定額)	100,700 円		
助成額(当初交付)	82,000 円	助成額(決算)	82,000 円
活動目的	地域を知る活動を通じて住民同士が知り合い、支え合う地域にしていくこと		

1 活動の実施状況

*** 実施日時、場所(会場)、対象者、参加人数等、活動の具体的な実施状況を記入してください。**

実 施 状 況	<p>平成30年5月16日 宮前、松庵地域の野菜直売所めぐり(参加26人)</p> <p>7月4日 ふくろう宮前で、宮前地域の歴史について、宮前3丁目「慈宏寺」住職のお話を聞く あわせて宮前地域の3件の農家さんから野菜の提供を受け、直売を実施(参加34人)</p> <p>9月19日 ふくろう宮前で、宮前地域や杉並区内の農業について、宮前2丁目の農家さんのお話を聞く(参加23人)</p> <p>11月21日 ふくろう宮前で、「防災を本気で考える」をテーマに、杉並区防災課のお話を聞く(参加32人)</p> <p>平成31年1月23日 ふくろう宮前で、杉並区防災課の参加を得て「今から考えるべき防災食」をテーマに、実際に防災食をつくり試食(参加17人)</p> <p>3月20日 「和気あいあい・おしゃべり広場」と銘打って、お茶を飲みながら会話する会を実施(参加29人)</p>
------------------	---

活動名	宮前地域貢献活動
-----	----------

2 実施活動の効果・成果

* 助成を受けたことによる効果・成果(地域への貢献)を、記入してください。

効果・成果	<ul style="list-style-type: none"> ・チラシを広範囲に配布したことで、多数の住民の方々に活動を知ってもらうことができた。 ・備品購入ができ、参加者に快適な時間を過ごして頂けるような工夫ができた。
-------	--

3 今後の課題及び翌年度以降の活動予定

* 課題の要因も併せて記入してください。

活動を実施した結果見出された課題及び翌年度以降の活動予定	
課題・活動予定	<ul style="list-style-type: none"> ・1年半にわたって会を重ねてきたが、地域への住民の関心をさらに呼び起こすことが課題である。 ・参加者がスタッフを含め、少なくとも40名ほどになるよう工夫していきたい。 <p><今後の活動予定></p> <ul style="list-style-type: none"> ・宮前地域の農家による講演と、採れたて野菜を使ってのレシピ紹介 ・宮前の歴史について民生委員の方による講演 ・宮前を中心に神社、仏閣などを訪ね歩き、地域を知る ・様々な介護施設について知る会 ・1年間の反省をする「おしゃべり会」

4 収支決算書

* 収入・支出ともに予算額は申請時の金額を記載します。

		予算額(円)	決算額(円)	内訳
収入	ささえあい活動(長寿応援ファンド)助成金	82,000	82,000	
	団体負担金			
	活動収入	18,000	18,700	参加費(昨年5月から今年1月までは100円×131人=13100円:3月からは200円×28人=5600円)
	その他の収入			
	計	100,000	100,700	予算額計、決算額計とも支出の計と合致すること

活動名	宮前地域貢献活動
-----	----------

	費目	予算額(円)	決算額(円)	内訳・増減理由
	支出	謝礼金等	7,000	6,228
			うち 助成額 6,228	
消耗品・備品		44,000	42,478	野菜持ち帰り用のビニール袋、文具
			うち 助成額 40,540	
旅費 ・交通費				うち 助成額
印刷費		24,000	23,429	チラシ印刷
			うち 助成額 23,429	
通信運搬費				うち 助成額
使用料・賃借料		6,000	5,400	会場への謝礼
		うち 助成額 5,400		
その他の経費	19,000	18,662	お茶等	
		うち 助成額 6,403		
計	100,000	96,197	執行率 (決算額/予算額) 96.2%	
		うち 助成額 82,000	予算額計、決算額計とも収入の計と合致すること	

活動名	宮前地域貢献活動
-----	----------

5 自己評価

目的	問1 活動は当初の目的どおり実施できましたか。
	<input type="checkbox"/> 充分できた <input checked="" type="checkbox"/> ほぼできた <input type="checkbox"/> あまりできなかった <input type="checkbox"/> できなかった
活動内容と実施	問2 計画したとおり(活動内容、スケジュール等)実施できましたか。
	<input type="checkbox"/> 充分できた <input checked="" type="checkbox"/> ほぼできた <input type="checkbox"/> あまりできなかった <input type="checkbox"/> できなかった ↓「あまりできなかった、できなかった」と回答した場合は理由を記入してください。
	問3 申請時の収支見込は適切でしたか。
	<input type="checkbox"/> 適切であった <input checked="" type="checkbox"/> ほぼ適切であった <input type="checkbox"/> あまり適切ではなかった <input type="checkbox"/> 適切ではなかった
効果・成果	問4 計画通りの実施効果を得ることができましたか。
	ささえあい活動(長寿応援ファンド)助成金交付申請書「2活動計画書」の申請目的欄に記載した内容に対応させてください。 <input type="checkbox"/> 充分できた <input checked="" type="checkbox"/> ほぼできた <input type="checkbox"/> あまりできなかった <input type="checkbox"/> できなかった ↓「充分できた」「ほぼできた」の場合は効果の具体的内容を、「あまりできなかった」「できなかった」場合は課題となった点を記載してください。 ・チラシを広範囲に配布できたことで、地域の住民が「宮前まちづくりの会」の存在を知るようになってきた
	問5 今回の活動を通して、理解者や支援者は広がり了吗か。
	<input type="checkbox"/> 広がった <input checked="" type="checkbox"/> 多少広がった <input type="checkbox"/> あまり広がらなかった <input type="checkbox"/> 広がらなかった ↓参加者や支援者などから寄せられた声を具体的に記載してください。 ・地域の歴史を知ることができて良かった ・農家の熱い思いや都市農業の大変さを知ることができ、応援したいと思うようになった ・3月のおしゃべり会に参加したことで、地域の情報を得ることができた
	問6 実施した活動はどのような点で地域貢献になっていますか。
・近隣同士が顔見知りになることで、災害時や緊急時に声を掛け合える関係に少しずつ近づいてきたように思える	
問7 助成を受けたことで生まれたと考える効果を具体的に記載してください。	
・チラシの枚数を増やすことができ、「宮前まちづくりの会」を多数の方に知ってもらえるようになったと思われる。参加費のみの資金では講師謝礼が十分に出せないなど活動に限界があったが、助成を受けたことで活動の範囲を広げることができた	
その他	問8 自由意見

ささえあい活動(長寿応援ファンド)助成活動報告書(平成30年度)

活動テーマ	<input type="checkbox"/> 高齢者の日常生活や健康づくりを支援する活動 <input type="checkbox"/> 子ども・若者世代を支援する活動 <input type="checkbox"/> 世代間の交流を進める活動 <input checked="" type="checkbox"/> 誰もが住みやすいまちづくりを進める活動		
活動名	医療と介護の地域ケアマップづくり		
団体名	在宅医療地域ケア会議 荻窪圏域 (平成 30 年 4 月設立)		
活動費 (事業終了後確定額)	2,000,000 円		
助成額(当初交付)	2,000,000 円	助成額(決算)	2,000,000 円
活動目的	地域共生社会とはどのようなものか？ 少子高齢多死社会、未曾有の自然災害など、私たちは力を合わせて乗り越えなければならない課題がたくさんあります。子ども、大人も、高齢者も障害者も等しく、地域で安心して過ごせる社会にするために、私たちの杉並区をもっと知り、もっと好きになる機会を持つために、みんなでつくる地域ケアマップづくりを地域住民と多職種で行う。		

1 活動の実施状況

*** 実施日時、場所(会場)、対象者、参加人数等、活動の具体的な実施状況を記入してください。**

実 施 状 況	<p> * 企画検討会議①平成30年8月7日(木)19:00~20:30 第1回 地域ケア会議準備会 * 企画検討会議②平成30年8月30日(木)19:00~20:30 第1回 地域ケア会議準備会 ☆第1回 地域ケア会議 平成30年 9月6日 (木)19:00~21:00 * 企画検討会議③平成30年9月20日(木)19:00~20:30 第2回地域ケア会議準備会 * 企画検討会議④平成30年10月4日(木)19:00~20:30 第2回地域ケア会議準備会 ☆第2回 地域ケア会議 平成30年 10月18日(木)19:00~21:00 * 企画検討会議⑤平成30年11月1日(木)19:00~20:30 第3回地域ケア会議準備会 * 企画検討会議⑥平成30年11月22日(木)19:00~21:00 冊子化準備会 ☆第3回 地域ケア会議 平成30年12月6日(木) 19:00~21:00 * 企画検討会議⑦平成30年12月20日(木)19:00~21:00 冊子化準備会 * 印 企画検討会議の場所はいずれも 康明会 荻窪クリニック 人数は医師:山口 ☆印 在宅医療地域ケア会議開催場所はいずれも杉並区医師会館3階講堂 * 企画検討会議⑧平成31年1月24日(木)19:00~21:00 冊子化準備会 * 企画検討会議⑨平成31年1月31日(木)19:00~21:00 冊子化準備会 * 企画検討会議⑩平成31年2月7日(木)19:00~21:00 冊子化準備会 * 企画検討会議⑪平成31年2月21日(木)19:00~21:00 冊子化準備会 * 企画検討会議⑫平成31年2月25日(月)19:00~21:00 冊子化準備会 * 企画検討会議⑬平成31年3月7日(木)19:00~21:00 冊子化準備会 * 企画検討会議⑭平成31年3月14日(木)19:00~21:00 冊子化準備会 * 企画検討会議⑮平成31年4月15日(木)19:00~21:00 冊子化準備会 </p>		
	<p>第1回~第3回地域ケア会議実施状況としましては、別添の資料あり。</p>		

2 実施活動の効果・成果

* 助成を受けたことによる効果・成果(地域への貢献)を、記入してください。

効果・成果	<p>下記と重なるところではございますが、第1回～第3回の在宅医療地域ケア会議に合計209名の参加者が熱心に参加して下さり、町会や住民と幅広い専門職(医師・歯科医師・薬剤師・看護師・理学療法士・作業療法士・言語聴覚士・歯科衛生士・介護支援専門員・相談支援専門員・訪問介護員(介護福祉士)・社会福祉士・精神保健福祉士・管理栄養士・教師・保育士等)が自身が地域で取り組みたい分野について、情報収集と共有をしながら交流し、日常に生きるつながりと資源の共有が図ることができました。</p>
-------	--

3 今後の課題及び翌年度以降の活動予定

* 課題の要因も併せて記入してください。

活動を実施した結果見出された課題及び翌年度以降の活動予定	
課題・活動予定	<p>①医師の参加者数が少ない ②学校関係者にも参加をして頂けると尚、良いのではないかと ③安心して暮らせる地域づくりのために、24時間体制の医療・介護を考える この3点が活動を実施した結果、見出された課題となりました。翌年度以降の活動予定と致しましては、本年度と同様に3包括支援センター、ウエルファーム杉並、杉並区医師会、杉並区歯科医師会等と連携をしながら、在宅医療地域ケア会議 荻窪圏域ではこの3つの課題について、課題③を中心に地域にアプローチしていく予定で活動計画を立てています。本年度までリーダー医師として活躍して下さった山口医師にも引き続きご参加・ご尽力いただきながら新たに安田医師をリーダー医師としてお迎えし、1年間の予定で地域ケア会議を継続していくこととしており、5/9始動致します。</p>

4 収支決算書

* 収入・支出ともに予算額は申請時の金額を記載します。

	予算額(円)	決算額(円)	内訳	
収入	ささえあい活動(長寿応援ファンド)助成金	2,000,000	2,000,000	冊子印刷費・通信費
	団体負担金			
	活動収入			
	その他の収入			
	計	2,000,000	2,000,000	予算額計、決算額計とも支出の計と合致すること

支出	費目	予算額(円)	決算額(円)	内訳・増減理由
	謝礼金等			
	消耗品費			
	旅費・交通費	920	1,020	荻窪－南阿佐ヶ谷間 地下鉄@170×6(3名往復) 印刷会社打ち合わせ
	印刷費	1,999,080	1,999,080	A4 3000部 @617.00円 小計1,851,000円 消費税148,080円
	通信運搬費			
	使用料・賃借料			
	備品費			
	その他の経費			
	計	2,000,000	2,000,100	執行率 (決算額/予算額) 100.0%
		うち 助成 額	2,000,000	予算額計、決算額計とも収入の計と合致すること

5 自己評価

目的	問1 活動は当初の目的どおり実施できましたか。
	<input checked="" type="checkbox"/> 充分できた <input type="checkbox"/> ほぼできた <input type="checkbox"/> あまりできなかった <input type="checkbox"/> できなかった
活動内容と実施	問2 計画したとおり(活動内容、スケジュール等)実施できましたか。
	<input type="checkbox"/> 充分できた <input type="checkbox"/> ほぼできた <input checked="" type="checkbox"/> あまりできなかった <input type="checkbox"/> できなかった ↓「あまりできなかった、できなかった」と回答した場合は理由を記入してください。 改元の年にあたり、印刷業者が非常に混みあい予定通りに冊子化をはかることが大変困難な状況となってしまいました。
	問3 申請時の収支見込は適切でしたか。
	<input checked="" type="checkbox"/> 適切であった <input type="checkbox"/> ほぼ適切であった <input type="checkbox"/> あまり適切ではなかった <input type="checkbox"/> 適切ではなかった
効果・成果	問4 計画通りの実施効果を得ることができましたか。
	ささえあい活動(長寿応援ファンド)助成金交付申請書「2活動計画書」の申請目的欄に記載した内容に対応させてください。 <input checked="" type="checkbox"/> 充分できた <input type="checkbox"/> ほぼできた <input type="checkbox"/> あまりできなかった <input type="checkbox"/> できなかった ↓「充分できた」「ほぼできた」の場合は効果の具体的内容を、「あまりできなかった」「できなかった」場合は課題となった点を記載してください。 第1回～第3回の在宅医療地域ケア会議に合計209名の参加者が熱心に参加して下さり、町会や住民と幅広い専門職(医師・歯科医師・薬剤師・看護師・理学療法士・作業療法士・言語聴覚士・歯科衛生士・介護支援専門員・相談支援専門員・訪問介護員(介護福祉士)・社会福祉士・精神保健福祉士・管理栄養士・教師・保育士等)が自身が地域で取り組みたい分野について、情報収集と共有をしながら交流し、日常に活きるつながりと資源の共有が図ることができました。
	問5 今回の活動を通して、理解者や支援者は広がりましたか。
	<input checked="" type="checkbox"/> 広がった <input checked="" type="checkbox"/> 多少広がった <input type="checkbox"/> あまり広がらなかった <input type="checkbox"/> 広がらなかった ↓参加者や支援者などから寄せられた声を具体的に記載してください。 今まで話したこともなかった職種の方々と、地域の一住民として地域について話し合う機会がもてとても参考になりました。自分の住むこの杉並という地域や社会資源に興味をもつことが出来て、楽しくなりました。また杉並がもっと好きになりました。というご意見や、歯科医師会の理事長はじめ理事の先生方には、連携元年ですねと全面的なご協力を頂き、この活動を通じて新たな地域での活動への協働参加(RUN伴)や交流の実現が図られ、現在も地域活動や事例検討会、学習会等、互いに参加し合える場が広がっています。
	問6 実施した活動はどのような点で地域貢献になっていますか。
	点であった地域の社会資源をひとりひとりが持ち寄り、地域の情報としてつなげ、そして地域ケア会議・冊子化を通じて可視化していくことで活きたつながりが生まれました。また、この活動をきっかけにして、医療と介護の連携多職種、行政の各窓口がひとつにつながり、互いの役割や良さ、得意とすることを理解できたことで、更なる地域の取り組みへのステップアップを目指す体制ができた。そして何より、あらためて地域の良さを知ることができたことで地域への愛着が増し、自分の暮らす地域への興味が深まりました。
問7 助成を受けたことで生まれたと考える効果を具体的に記載してください。	
個人で取り組むものから、地域へと広がり、そして行政の応援を得ることができて尚一層の地域住民、地域団体の皆様にご理解・ご協力が得られたこと、たくさんの地域密着情報が杉並区に暮らす区民にわかりやすく、活用しやすい状態でお届けすることができたことが、大きな効果(成果)となりました。また、参加者全員のモチベーションがあがり、これからの地域での取り組みへと発展的に引き継がれることとなりました。これからも「地域と地域で暮らすひとたちをゆたかにする地域活動の輪」がとでも大きくたくましくなりました。	
その他	問8 自由意見
	私たちのこの活動を応援して頂いたこと、心より感謝申し上げます。ありがとうございました。これからも地域のためにしっかりと活動を続けていきたいと思えます。